

COVID-19 に関して ICA(国際協同組合同盟)会長のメッセージ (3月18)

協同組合のみなさま

このような困難な時代にあって、ICA のすべての組合員、特に痛みを伴う自粛期間を過ごしているすべての人たちとの連帯を表明したいと思います。

私たちが直面している緊急事態と、COVID-19 の拡散を防ぐために国の当局が実施した措置は、我々のコミュニティおよびコミュニティで重要な役割を果たしている協同組合に、大きな試練を投げかけています。

地域社会のために、私たちは健康リスクだけでなく、企業や活動の機能の存続に直面しており、知性と冷静さを示さなければなりません。

多くの協同組合は、すでに働き方を再編しています。ICA の事務所でも同様のことをしました。それぞれの組織内での努力を称賛します。

私たちは、これまでと変わらず世界の人々保護に最善の貢献をするため、所轄官庁が定めた規定に従って行動を適応させていく所存です。協同組合運動では、尊敬、傾聴、受容、共感、相互扶助、善意、責任、連帯、善良な市民性などの価値観に基づく「他者の経験」も基本的なものであることを知っています。

危機的状況の中で、協同組合は、常に透明性、大胆さ、決断力を持って最前線に立ちました。今日では、その固有の連帯感、団結力、開拓者精神のおかげで、すべての人の利益のために強力なアイデアを生み出し続けています。

協同組合運動全体の責任と感性に訴え、情報を発信し、情報を共有し続けようではありませんか。

この困難な時期に立ち向かうための強さと勇気があることを祈ります。

ICA 会長 アリエル・グアルコ